

TOPICS

- ・定例会・臨時会の概要 — 2
- ・一般質問 ————— 4
- ・委員会レポート ————— 10
- ・全員協議会の概要 ————— 11
- ・議案等の審議結果 ————— 12



自然学習館と野鳥観察所がオープン!

徳山動物園では、現在リニューアルが進んでおり、10月1日には自然学習館と野鳥観察所が新たに開館しました。環境建設委員会では、9月25日に開館前の施設の現地視察を行いました。

概要

第3回臨時会を7月28日に開催し、一般会計補正予算、徳山動物園リニューアル新ゾウ舎建築主体工事などの市長提出議案4件を審議しました。

第4回定例会を9月5日から9月22日までの18日間開催し、一般会計および特別会計の補正予算、企業会計決算、条例の一部を改正する条例制定などの市長提出議案28件を審議しました。

また、閉会中に平成28年度一般会計および特別会計の決算審査を行い、第5回臨時会を10月31日に開催してその認定について表決を行いました。

可決
(賛成多数)

一般会計補正予算(第3号)

7月臨時会

PF1方式による学校給食センターの施設整備および供用開始後の管理運営と、平成30年度から開始する戸籍証明書等のコンビニ二交付に必要なシステム改修のための補正を行うものです。

予算決算委員会での審査

◆**学校給食センター整備運営事業**
業務分担の中でもリスクが高い食材調達を市が担う理由は、

☑ 食育業務等と併せて市の栄養士が献立を作成しており、食材調達は献立作成と密接に関係することから、市が責任をもって行う。

問 6月28日に開催した実施方針等説明会に参加した企業の数は。

☑ 建設企業、設計企業、厨房設備企業、運営企業がそれぞれ3社、そのほかビルメンテナンス会社、金融機関等、計15社33名が参加した。

可決
(全会一致)

一般会計補正予算(第4号) 公共交通ネットワーク形成事業

定例会

市街地循環バスの実証運行を行うための経費として、周南市地域公共交通会議への交付金145万8000円を増額するものです。

予算決算委員会での審査

問 交付金の事業の内容は。

☑ 実証運行のルートや時間帯、中心市街地を周遊してもらうための意見等を聞き、分析・検証する。

委員会審査結果 全会一致で可決

可決
(全会一致)

周南市奨学金貸付等基金条例制定

定例会

現行の条例を全部改正し、新たな要素を加えた本市独自の充実した奨学金制度を創設するものです。

教育福祉委員会での審査

問 国や民間にも制度があるが、市の財政を用いて取り組む理由は、

☑ 独立行政法人日本学生支援機構では今年度から給付型の奨学金制度を実施しており、市でも制度の一層の拡充を図る。また監査委員による意見書および奨学金審議会でも、積極的なPRや支援をすべきとの意見をいただいた。

問 本制度には同法人にはない高校生を対象とした奨学金があることを周知すべきでは。

可決
(全会一致)

工事請負契約の締結 (周南市処理困難物選別施設整備工事)

定例会

既に稼働停止しているごみ燃料化施設フェニックスを、処理困難物選別施設として再利用するための改修工事を行うものです。

環境建設委員会での審査

問 どのような整備を行うのか。また、従事者の人数は。

☑ 床面積を最大限活用するため、

☑ まずは校長会に対して中学生の進路指導での活用を周知し、生徒の各家庭の状況を把握している教職員とも連携をとっていきたい。

委員会審査結果

全会一致で可決

● 新設する定住促進および修学支援奨学金は、卒業後の市への就労定着や、向学意欲がありながら経済的に厳しい環境下にある学生の助けとなる。

● 連帯保証人を要件から外すべしだが、新制度は全国水準を超える優れたものである。

問 設計金額が2億3736万円と高額だが、主な要因は。

☑ 中にある機器の撤去費用が最も高額で、鉄やゴムなど様々な材料でできていることや、ダイオキ



定例会・臨時会の

シン対策も必要なことから、分解・搬出に当たり約1億1400万円の費用がかかる。そのほか、建築に関する工事に約8400万円、

電機設備に約1750万円等の費用がかかる。

委員会審査結果 全会一致で可決

撤回

地方議会議員の厚生年金への加入に対する慎重な取り扱いを促す意見書の提出

定例会

本件については、9月13日に委員会を開催し、審査に当たり、提出者である議員3名に対して質疑を行いました。

企画総務委員会での審査

問 内容については同意するが、なぜ今提案するのか。

答 国会で法案として出される前にきちんと意思表示をすることがタイムリーな時期と思い、今回提案した。また、市民の中に、いまだに議員は年金をもらっているのかという感覚が抜け切らない状態にある中で、ある程度の意思表示は必要と考えている。

問 本市議会でも、これまで議員の厚生年金加入については議論を行ってきたが、提出された意見書案ではこのことが国に対して十分伝わるか疑問である。賛成も反対も含めて、国会議員に地方議会の声を反映させるよう求める必要があると思うが、文案を修正してで

も意見書を提出するという気持ちはあるか。

答 これまでやってきた議論をきちんと周南市議会の意思としてアピールができるように、考えを明らかにしたいという強い意志を持っている。

質疑の途中で提出者から「これまでの議論を踏まえ、本議案を撤回したい」と申し出があり、審査を終了しました。

その後、9月22日の本会議において本議案は撤回され、新たに「地方公務員等共済組合法及び厚生年金保険法改正案」の慎重な取り扱いを求める意見書が提出され、全会一致で可決しました。

可決 (賛成多数)

平成28年度一般会計及び特別会計歳入歳出決算の認定

10月臨時会

9月定例会で上程された平成28年度決算に係る議案について、閉会中に審査を行ったものです。

予算決算委員会での審査

◆避難行動支援事業

問 家具転倒防止器具設置世帯数が、目標50件に対し実績は12件だが、目標達成に向けて推進した内容は。

答 毎年2回開催する自主防災組織のネットワーク会議で、先進的に取り組んでいる地域の状況を説明してもらい、これから取り組む地域には資料を提供している。

◆生活交通活性化事業

問 コミュニティ交通運行業務委託料1800万円の内訳と、利用者の推移は。

答 鹿野地区が約1080万円、大道理地区が約35万円、大津島地区が約680万円、八代地区が約11万円である。また、鹿野地区の利用者は平成23年度の約1750人から約1400人に、大津島地区は約6900人から約1万1800人に推移している。

問 鹿野地区では運行の利便性に疑問の声が多いが、どのように考えているか。

答 利用促進に向けたアンケートや、地域住民・事業者との検討を行い、可能な限り時間等の変更をしている。路線バス・コミュニティ交通だけでなく、タクシー等使いやすい移動手段を考える。

◆わさび栽培実証実験事業

問 良い結果が得られたが、今後の展開は。

答 秋以降、ハウスを持つ農家に試験栽培を依頼し、冬から春の間の花や葉の収穫量を調査する。また中山間地域では、新規就農者が夏秋トマトとワサビの二毛作を行えるよう、しばらく研究が続けたい。

◆企業立地促進事業

問 事業所等設置奨励金の実績が、15社21件と目標を大きく上回った要因は。

答 平成26年度の企業立地促進条例改正により対象範囲に加えた大手製造業からの設備投資が増えたためと考えている。

委員会審査結果 賛成多数で可決

委員会では、一般会計及び国民健康保険・後期高齢者医療・簡易水道事業特別会計に対して反対論がありました。また、本会議でも同様に反対論がありました。



一般質問



要旨

一般質問は、議案に関係なく市政全般について、市長などの執行機関に考え方や方針を問うものです。ここでは、質問項目を一つに絞って掲載します。

期日前投票所の増設箇所は決定したか



刷新クラブ
得重 謙二

問 昨年的一般質問で、各種選挙の投票率向上に向けた取り組みとして、市内の期日前投票所を、現行の4カ所から増設してはと提案し、本年度の予算説明時に1カ所増設する旨の説明を受けた。3月時点では具体的な場所は決定されていなかったが、現時点では決定されたか。

答 平成30年2月4日執行の山口県知事選挙において「ゆめタウン徳山」で期日前投票所を開設する。運営については、期日前投票期間のうち、1日または2日間の設置を予定している。

その他の質問

- 小・中学校における熱中症対策について
- 熊対策について

公共施設再配置の地域別計画の取り組みは



刷新クラブ
田村 隆嘉

問 和田地区における夢プラン策定と、モデル事業としての地域別計画の関わりは。

答 夢プランは地域住民が策定し実践する地域の将来計画、公共施設再配置の地域別計画は行政が行う施設老朽化に対応する施策であり、性格は異なる。和田地区においては、公共施設再配置に取り組みプロジェクトにおいて、夢プランの内容および検討過程の情報を共有し、地域の公共施設の目指す方向性についての議論の迅速化が図られており、他の地域の取り組みに生かしていきたい。

都市計画道路見直し後の対応を



刷新クラブ
田中 和末

問 都市計画道路の長期末着手路線について、現在見直しが図られているが、存続が決定した路線については、今後の整備計画を示すべきではないか。また、廃止路線については、改良の必要性を点検し、改良が必要な道路は早期に道路課で対応すべきではないか。

答 存続路線については、将来交通量やまちづくりの整合を図り対応していく。廃止路線については、安全な通学路の確保など、しっかり検証し、各地域の課題解消に取り組んでいく。

その他の質問

- 地域づくりについて
- 国民健康保険について

障害福祉サービスの充実度と今後の課題は



アクティブ
岩田 淳司

問 わが市の障害者通所サービスや放課後等デイサービスは、ここ数年でどれぐらい拡充できたのか。また、次期障害福祉計画で特に取り組むべき課題は何か。

答 通所サービスの定員は平成23年度末224人(周南圏域で401人)であったのが平成29年4月で415人(同圏域で803人)、放課後等デイサービスは平成24年4月20人(同圏域で30人)であったのが平成29年4月で85人(同圏域で175人)まで拡充できた。次期計画では、グループホームの拡充を含め、地域生活支援拠点の整備を課題として取り組む。

市職員の外部組織への派遣研修の状況は



アクティブ
山本 真吾

問 市職員の外部組織への派遣についての状況や考え方はどのようなものか。また、コスト意識や業務の進め方等を学ぶために、民間企業での派遣研修を行ってはどうか。

答 職場では身に付かない専門的な知識・技術とともに、人的ネットワークの構築を目的に、国や県の機関、具体的には、内閣府、総務省の外郭団体、山口県市町課、自治大学校や市町村アカデミー等への派遣を行っている。民間企業への派遣は現在行っていないが、他市の事例も参考にしながら職員研修の充実強化に努めていく。

その他の質問

●徳山駅前図書館へのアクセスについて

中央図書館に児玉文庫メモリアルの愛称を



新誠会
米沢 痴達

問 児玉文庫は、児玉源太郎が郷土のためにと私財を投じて創設した私設図書館である。本市出身の児玉源太郎は全国的にも知名度があり、その業績は高く評価されているが、市民に十分周知されているとは言いがたい。児玉文庫にゆかりのある中央図書館に「児玉文庫メモリアル」の愛称を付し、児玉源太郎を顕彰してはどうか。

答 「児玉文庫メモリアル」の愛称は、周南市にマッチした呼称である。市民の機運が盛り上がり、愛称を付すことを前向きに検討する。

その他の質問

●子供の貧困対策について

高齢者福祉のより一層の充実を



アクティブ
土屋 晴巳

問 各地域に地域包括ケアシステムの構築が求められているが、なぜ必要なのか。次期高齢者プランとの関連は。

答 高齢者の住み慣れた地域での安心した生活を支えるには、医療職や介護職等による専門的サービス提供体制だけではなく、地域の助け合いによる生活支援の充実が今後ますます必要となる。もやいネットセンター推進事業や住民運営の通いの場の創出に特に重点を置いている。次期高齢者プランでは本市独自の取り組みも検証し、地域の実情に合わせた地域包括ケアシステムを深化・進化する取り組みを盛り込んでいく。

その他の質問

●河川の保守について

大学生等の消防団への加入促進を



六合会
佐々木照彦

問 消防団組織の充実強化に向け、大学生等の加入は、地域防災の担い手として期待される。加入促進に当たり、学生消防団活動認証制度は有効な手段であり、積極的に進めるべきではないか。

答 本市においても消防団員の確保、将来の地域防災の担い手として、学生消防団員制度に期待しており、本制度を導入する準備を進めている。また、この制度導入に合わせ、学生消防団活動認証制度についても整備したい。今後も消防団の入団促進にも力を入れ、災害対応に当たっていく。

- 水産物の消費拡大について
- 徳山下松港の振興について

自治会の組織化・活動に対する支援の強化を



六合会
藤井 康弘

問 本来は税を財源に市が供給すべき公共財の一部を、加入率が低下している任意加入団体の自治会が供給していることにより生じている不公平と供給不足の緩和策として、次の施策を講ずべきではないか。①未加入者の規範意識に訴える文書配付等、市による自治会加入促進策の積極的実施。②防犯灯設置費補助金の改善や市道補修工事補助金と法定外公共物への原材料支給の上限額の見直し等、自治会による公共財の供給に対する市の支援の拡充。

答 ①には積極的に取り組み、②は検討したい。

熊毛地域の市道維持管理の対応を



嚙矢会
尾崎 隆則

問 平成25年度より、主として熊毛地区の団地を対象に都市計画税が導入された。導入前の説明会では、収入額全てを合併前の区画整理事業の償還金に回すのではなく新たな負担を求めることから、半分は地域の生活基盤整備を充実させるとの説明であった。上水道管敷設後いくつかの団地では幹線道路のオーバーレイで修復されているが、支線に入ると亀の甲羅状態である。年次的・計画的な道路整備を求める。

答 安心・安全のため、地域のご意見を伺いながら、適切な維持管理に努めていく。

保育所・幼稚園・小中学校の雨漏り対策は



嚙矢会
古谷 幸男

問 ①小中学校および幼稚園・保育所の雨漏り・外壁などの補修の取り組み状況はどうか。②長年放置してはいけない。早急に予算措置をすべきではないか。

答 ①雨漏りは幼稚園2施設・保育所8施設、小学校20校・中学校10校から58カ所、塗装含む外壁等その他は幼稚園1施設・保育所3施設、小学校5校・中学校1校から7カ所で、小中学校からは38校延べ328件補修の要望がある。②沼城小は来年度、須磨小・秋月中も早期に予算確保したい。全体的に雨漏りや外壁改修などの対策に、着実に取り組んでいく。

その他の質問

- リサイクルプラザ「ペガサス」について
- 徳山駅前賑わい交流施設について

SNSを活用したいはじめ等の相談体制の設置を



公明党
遠藤 伸一

問 新たなはじめの形としてSNSを通じたものが確認されているにもかかわらず、電話中心のいじめ相談窓口が大半である。現行の相談体制に加え、10代に身近なLINE等のSNSを活用した相談窓口の設置は検討できないか。

答 時代の変化とともに、子供たちが扱うコミュニケーションツールも変化してきていることから、先進事例の成果や課題を踏まえつつ、いじめ等の相談体制のあり方についても見直すよう、今後、その必要性や実効性等について研究したい。

その他の質問

●周南市の公共交通のあり方について

用語の説明

※SNS
インターネット上で社会的ネットワークを構築できるサービスを指す「ソーシャル・ネットワーキング・サービス」の略称。フェイスブックやLINE等がある。

鹿野地区の地域医療とまちづくりに支援を



六公会
長嶺 敏昭

問 鹿野地区コミュニティでは「地域医療とまちづくり」を地域の夢プラン策定の大きな柱に位置づけるべく、健康増進、医療予防、独自の血圧手帳、みずからの終末期をも考えるエンディングノート、緊急キットの配置や地域独自の医学生・看護学生との交流、コミュニティナース

先進地との交流など、取り組みの進化を模索している。予算を伴う支援を求めたい。
答 地域みずからが考え実践する鹿野地区ならではの特色ある地域づくりの取り組みに対し、市もしっかり応援していく。

その他の質問

●石船温泉憩いの家、せせらぎ・豊鹿里パークの運営

●野良猫のふん尿・餌やり・捨て猫対策

ふるさと納税の5000万円は実現できるのか



六公会
福田 健吾

問 今年度、しゅうニャン市プロジェクトと連動して、ふるさと納税の歳入を5000万円としている。8月末時点の実績はどうか。またシティプロモーション事業の中で新聞広告等に約1000万円計上しているが、その効果としてふるさと納税は増えるのか。

答 8月末時点で103件、198万3000円が実績である。10月から12月に集中すること、制度のリニューアルに合わせ集中的にPRすること、歳入確保につなげた。あらゆる手法によって何とか実現したい。

その他の質問

●計画業務や設計業務等の外注について

女性雇用マッチング事業のさらなる推進を



公明党
金子 優子

問 ①来年度、国の地方創生推進交付金採択へ向けて具体的な事業内容を示すべきでは。②近隣他市や各関係機関との連携の考えは。

答 ①今年度の国の交付金不採択の理由については、事業の独自性や先駆性などが考えられる。今後の事業については、アンケート調査の結果を分析し、来年度以降の方向性を整理する。②ハローワーク徳山や商工会議所等と協議し進めている。今後は大学や専門学校、女性活動支援団体にも参画いただき、効果が期待できる事業は近隣他市とも協議していく。

その他の質問

●国民健康保険制度改革について

人事異動のデメリットの克服はできているか



六合会
福田 文治

問 1400人弱の職員がいる中、毎年500人前後の人事異動を行っている。事務引き継ぎの不備、異動によるモチベーションの低下等で民サービス、組織の活性化の低下を招いていないか。

答 異動後については、事務引き継ぎで、ある程度の時間が必要になるが、業務における課題や対応方針など、的確に引き継ぐとともに、所属長が部下の能力、やる気を引き出せるようリーダーシップやマネジメント能力向上の研修受講等をし、職場の協力体制のもと業務に支障がないよう努めている。

今こそICOCAカードの導入を



六合会
青木 義雄

問 来年2月に待望の徳山駅前賑わい交流施設が開館する。JR徳山駅の利用者が飛躍的に増えることも期待できる。これを起爆剤として、ICOCAカード導入を検討すべきではないか。

答 JR西日本が発行するICOCAカードは、全国の鉄道・バスの乗降時に改札機にかざすだけで利用でき、カードに入金することで何度も繰り返し返して使えることから、多くの方に利用されている。電子マネーや商業施設との連携も考えられ、地域の活性化に期待できることから、導入に向けて研究する。

その他の質問

- 広域観光について
- 周南ものづくりブランドについて
- ことも食堂について

市長はヒバクシャ国際署名を



日本共産党
中村富美子

問 市長はヒバクシャ国際署名をされたか。

答 公人としての個別の署名は控えさせていただいている。

問 公人であるからこそ自治体が住民に最大限の安全を提供するのは義務である。世界の何億という人の署名を集めたものを国連に出し、早く核兵器禁止条約を発効させましょうという流れに持っていくか。

答 核兵器廃絶に向けては当然、すべきだというふうに思っている。

その他の質問

- 市営住宅の家賃の減免について
- 図書館行政について

窓口業務の外部委託化はすべきではない



日本共産党
魚永 智行

問 地方自治法などの改定により、窓口業務が地方独立行政法人に外部委託できることになったが、窓口業務は市民にとっては行政サービスの入り口であり、市職員にとっても、直接市民の声を聞いて勉強し、専門性を高めていく大切な機会となっている。外部委託するべきではないと考えるがどうか。

答 窓口業務は大変重要な役割を担っている。一方で、より効率的、効果的な行政運営が求められていることから、外部委託化は現時点では考えていないが、調査・研究を行っていききたい。

その他の質問

- 中小企業信用補完制度のあり方
- 介護保険について
- 保育行政について

来年度から実施の新学習指導要領による展開は



新誠会
田村 勇一

問 ①キーワードである主体的・対話的で深い学びについてどう取り組むのか。②指導要領に基づく現状分析はなされているか。課題は。③学校・家庭・地域の連携は不可欠と考えるが今後の展開は。

答 子供たちが未来社会を切り開くための資質や能力を、社会に開かれた教育課程を重視する中で一層確実に育成すること。知識の理解の質をこれまで以上に高め、確かな学力を育成すること、道徳教育や体験活動、体育や健康に関する指導を図り、豊かな心や健やかな身体を育成する。

その他の質問

- 全国学力・学習状況調査結果
- 防犯カメラの設置
- 徘徊高齢者発見のためのGPS機器の導入

公園の新たな有効活用を考へてはどうか



アクティブ
井本 義朗

問 身近な公園は、地域によっては利用者が減り草木が茂るなど、将来の維持管理に課題がある。そこで地域団体が主体的に公園の一部を活用して野菜や花を育て地域で共有し、コミュニティの醸成につなげてはどうか。また大規模な公園には民間の資金やノウハウを用いて飲食店などを設置して、新たな魅力や機能を付加してはどうか。

答 身近な公園の活用は有効な手法の一つであり研究していきたい。大規模な公園のPFIの導入も多くのメリットがあるが、課題もあるため研究していきたい。

その他の質問

- 東京オリンピック・パラリンピックについて
- フェイスタップの地名の誤表記について

市民の安心安全、野犬とミサイル対策は



会派に属さない議員
島津 幸男

問 ①昨年49件、今年は野球場そばで野犬による咬傷事件も発生した。市の管理下の公園等での事件は市に責任。小学生的の被害も多い。情報開示、ワンワン110番・野犬牧場など早急な対策が必要では。

②Jアラートの市民への対応は。防災拠点の新庁舎や駅ビルの防災対策が心もとない。避難用地下室、貯水設備は。

答 ①野犬による事件は定期的に公表している。学童の見守りは、地域見守り隊にもお願いしたい。②Jアラートはしゅうなんメール登録者の約8500人に伝達した。シエルトアの予定はない。

その他の質問

- 市政の透明化と市民・議会への情報公開及び説明責任

市長の政治姿勢を問う



新誠会
兼重 元

問 合併15年目を迎えた。新市建設計画は最終年度に入つたが、現状と、その成果はどうか。

答 ソフト事業はほぼすべての事業を実施した。ハード事業は主要155事業のうち、およそ8割にあたる122事業を完了または事業着手している。旧2市2町が抱えていた課題は十分な成果が上げられた。次の世代に確実に引き継ぐため、持続可能な安定した財政運営を見据え、選択と集中により必要な事業を見極めながら、市民の皆様とともにオール周南によるまちづくりを進めていく。

委員会レポート

常任委員会が調査を行ったものや特別委員会での協議内容を報告します！

新南陽総合支所の仮庁舎

執行部から、仮庁舎の検討経緯および移転場所について報告を受けました。

◆ 執行部の説明 (要旨) ◆

仮庁舎の場所は、総合支所周辺の公共施設を中心に、市民の利便性を最優先に総合的に検討したが、転用は難しいと判断した。次に、民間施設であるイオンタウン周南を候補地として検討した結果、必要面積の確保、アクセスの確保、コストの低減が図れることなど、総合的に適地であると判断した。

企画総務委員会での調査

問 賃料とのバランスは。

答 本庁機能を除いた新南陽総合支所部分にかかる管理運営経費は、平成28年度決算分で、約2,500万円である。この金額を上回らない形で協議している。

問 仮庁舎の移転から新しい総合支所に移転するまでのタイムスケジュールは。

答 仮庁舎の移転は、本庁が平成30年8月に完成するため、タイムラグおよび経費的な重複がないように調整したい。また、仮庁舎の賃借期間を当面3年間と考えており、この間に総合支所の方向性を示したいが、タイトなスケジュールのため期間の延長も可能な形で調整している。

地方卸売市場青果卸売業者の経営状況

執行部から、平成28年度地方卸売市場青果卸売業者の経営状況について報告を受けました。

◆ 執行部の説明 (要旨) ◆

地方卸売市場における徳山青果株式会社は、市場外流通の増大や流通形態の変化等により厳しい経営状況にあることから、施設使用料の減免等、市の支援を受けながら経営改善に向けて取り組んでいる。

平成28年度は、取扱高が前年度比99.2%の36億3,200万円と若干減少した。売上利益は2億4,900万円、当期利益は200万円、平成22年度からの黒字を維持している。債務超過は平成25年度に解消し、28年度は1,700万円の純資産を確保した。しかし、買受人に支払われる完納奨励金の減額や、市による使用料の減免措置額を踏まえると、本来であれば2,200万円の赤字となる。

今年度開始の第3次経営再生計画では、取扱高の目標を37億円の維持・拡大とし、売買参加者との情報共有による商品の安定供給、新規取引の開拓や県内他市場との連携・共同展開による商品の相互融通及び取引拡大を図る。

環境建設委員会での調査

問 現在の使用料減免額は。

答 減免額は1,473万6,805円である。

問 使用料の減額割合は平成25年度から7割減額のまま進展がない。以前のように経営アドバイザーをお願いする等、方策を講ずるべきと考えるが、市の考えは。

答 経営改善には、取扱高を増やし、委託手数料で収入を上げる必

要がある。定期的な朝市の開催等、他市場の取り組みを市も調査研究しており、提案していきたい。以前経営アドバイザーによりスリム化できたが、数年経過した現在は削減箇所も少なくなっている。しかし、市の経営指導も限界があるため検討したい。

公共施設再配置の今後の方針

9月19日に開催した委員会で、平成30年度以降の公共施設の再編・再配置の大まかな取り組みについて執行部から説明を受け、質疑を行いました。

公共施設再配置及び新庁舎建設に関する特別委員会での調査

問 廃止の方向性が示された施設は行政主導が基本と思うが、市民の理解と納得が必要と考える。市の考えは。

答 公共施設再配置を進めるに当たっては、市民の理解と協力が不可欠で、これまで漫画、広報紙での啓発や、出前トークを実施してきた。今後も丁寧な説明を行い、進めていきたい。

問 周南市公有財産有効活用・管理検討委員会が最終的な方向性を示すとのことだが、具体的な内容は。

答 平成29年4月1日に要領を策定し組織化したもので、公共施設再配置計画に関わる具体的な方針を審議・検討することを目的とし、再配置計画におけるアクションプランの推進、公共施設の再編、公有財産の有効活用の処分等に関するところおよびその他公有財産に関し必要なことを検討する。また、副市長を委員長とし、必要に応じて専門部会を設け、方向性、具体的なスケジュールなど市としての最終的な方針を示す。

周南市徳山駅前賑わい交流施設に掲げる名称

8月10日に開催した委員会で、周南市徳山駅前賑わい交流施設に掲げる名称について質疑を行いました。

中心市街地活性化対策特別委員会での調査

問 配付された資料では施設に掲げる名称が「周南市立駅前図書館」となっている。条例と異なる名称に掲げることに問題はないのか。

答 正式名称は「周南市立徳山駅前図書館」であるが、必ずしも条例どおりに掲げなければならないことはない。

問 「徳山」を削除した理由は。

答 短くコンパクトに、シンプルな名称にしたいという理由から、カ

ルチュア・コンビニエンス・クラブ株式会社や建築設計事務所等の意見を踏まえ、今年の3月頃に市が決定した。

問 決定から数カ月経過しているが、なるべく早く市民・議会に報告すべきでは。

答 かなりの期間が空いたことは深く反省し、今後は早く報告するよう改めていきたい。

質疑の途中で委員から動議が提出され、同施設に掲げる名称の再考を求める決議を全会一致で決定しました。決議を重く受け止め、市長みずから説明したいとのことから、8月22日に再度委員会を開催しました。

◆ 執行部の説明(要旨) ◆

徳山駅周辺整備事業は、議会とともに知恵を出し合い進めてきた中で、同施設に掲げる名称の説明を漏らしたことは大変申し訳なく、反省し、おわびを申し上げます。今後は市民や議会へのタイムリーな説明に努める。決議を受け再考したが、同施設に掲げる名称の変更には、追加工期が約4カ月、追加工事費が約3,000万円見込まれることから、変更は困難と判断した。掲げる名称は「周南市立駅前図書館」とし、JR徳山駅の表記とセットとすることでご理解をいただきたい。

問 説明を漏らした責任の所在はどこにあるのか。

答 最終責任者は市長の私であり、大変申し訳ない。今後はタイムリーな説明に努める。

問 「周南市立駅前図書館」の表記は、条例と異なることを考えると、愛称になるのか。

答 施設に掲げる掲示を決めたもので愛称ではない。JR徳山駅と隣接していることから周南市立駅前図書館としたが、今後作成する広報物等では条例に定める「周南市立徳山駅前図書館」と記載する。



質疑を終了し、委員から動議が提出され、今回の説明を聞き、掲げる名称の変更は困難ということが分かったため、新たに市民及び議会に対し説明責任を果たすことを求める決議を全会一致で決定しました。

全員協議会の概要

周南市防災情報収集伝達システム防災行政無線及び無線LAN整備工事の報告について

7月28日の臨時会終了後、周南市防災情報収集伝達システム防災行政無線及び無線LAN整備工事の報告についての説明を求めるため、全員協議会を開催しました。

● 執行部の説明の要旨 ●

現在整備を進めている防災情報収集伝達システムの進捗状況は、7月14日時点で33.9%で、現在は、無線LAN中継局用鉄塔を兼ねた高機能スピーカーの設備工事などに着手している。

また、工期が約5カ月延長することが確定し、その原因が実施設計の不備によることから、実施設計業者に対し、6カ月の指名停止措置を行った。工事の遅れにより工事請負業者に発生した経費の支払い方法等は、本年8月末を目途に確定する予定である。

● 全員協議会での主な質疑 ●

問 全世帯に対し、経緯や状況を説明する文書は配付するのか。

答 文書の全戸配布は行わないが、市広報などによる結果報告や、議会に対しては行政報告を行う。

問 実施設計業者への未払い金額は。また、担保能力に問題はないか。

答 監理委託料は、昨年度1,220万円支払っており、残りが2,398万円である。実施設計業者へは、実施設計の

不備により生じた経費を工事請負業者と市に対して支払う意思があることを確認している。

問 実施設計業者から工事請負業者に支払う義務があるとはどういうことか。

答 設計の見直しにより発生した部分は、本来であれば実施設計業者から工事請負業者に直接支払われるべき経費である。現在、工事請負業者から受領した見積書により、どの部分にこれが当たるのか精査している。

議案等の議決結果 (定例会・臨時会)

|| 賛成多数で可決 ||

補正予算

- ・一般会計補正予算 (第3号)

平成28年度決算認定

- ・一般会計および特別会計

人事案件

- ・政治倫理審査会委員の選任 (7名のうち1名)

委員会提出議案

- ・周南市徳山駅前賑わい交流施設に掲げる名称決定の経緯について説明責任を果たし謝罪を求める決議

|| 陳情 ||

全会一致で不採択: 周南市「国民宿舍湯野荘」の売却に関わる公募・入札の事業計画案に対し見直しの陳情

賛成少数で不採択: 日本政府に核兵器禁止条約の調印を求める意見書採択についての陳情

|| 全会一致で可決 ||

補正予算

- ・一般会計補正予算 (第4号・第5号)、国民健康保険特別会計補正予算 (第1号)、後期高齢者医療特別会計補正予算 (第2号)、介護保険特別会計補正予算 (第1号)、駐車場事業特別会計補正予算 (第1号)、下水道事業会計補正予算 (第1号)

平成28年度決算認定

- ・水道事業会計・下水道事業会計・モーターボート競走事業会計の決算認定・剰余金の処分、病院事業会計、介護老人保健施設事業会計

条例改正など

《人事案件》

- ・政治倫理審査会委員の選任 (7名のうち6名)、人権擁護委員候補者の推薦

《条例制定》

- ・コミュニティバスの運行に関する条例、奨学金貸付等基金条例

《条例の一部改正》

- ・西部市民交流センター条例、徳山駅前賑わい交流施設条例、小・中学校児童生徒就学援助条例、火災予防条例、周南市議会委員会条例

《その他》

- ・動産の買入れ (高規格救急自動車、大型化学高所放水車、新庁舎集密書架、新庁舎周南市産材家具、園芸作物栽培用ハウス)、工事請負契約締結 (徳山動物園リニューアル新ゾウ舎建築主体工事、処理困難物選別施設整備工事)、訴えの提起

議員提出議案

- ・「地方公務員等共済組合法及び厚生年金保険法改正案」の慎重な取り扱いを求める意見書の提出

書類提出: 出資法人の決算 (ふるさと振興財団、文化振興財団、かの高原開発、医療公社、周南地域地場産業振興センター、徳山青果精算、徳山地区漁業振興基金、新南陽地区漁業振興基金)
報告: 平成28年度決算に基づく健全化判断比率及び資金不足比

率、損害賠償の額を定めることに関する専決処分 (3件)

行政報告: 第3次周南市行財政改革大綱推進計画財政計画の進捗状況

議会報告: 例月現金出納検査の結果 (5件)、定期監査結果 (1件)、平成28年度非強制徴収債権の債権放棄に関する資料の提出 (2件)

市議会からのお知らせ

■ 議会を傍聴しませんか

先着順でどなたでも傍聴できます。

■ 12月定例会の予定

12月5日(火)	本会議
12月7日(木)~12日(火)	本会議 (一般質問)
12月13日(水)	常任委員会
12月14日(木)~15日(金)	予算決算委員会
12月22日(金)	本会議

*本会議・委員会は、午前9時30分から開催します。(土・日曜日は休会です。)

*日程の変更は、市議会ホームページでお知らせします。

■ インターネット議会中継

本会議の生中継と録画放映で、録画放映は本会議の3~4日後から視聴できます。

[周南市議会 インターネット中継](#) で [検索](#) を

*スマートフォンからも視聴できるようになりました。

■ ケーブルテレビ議会中継

本会議の様子を実況放送します。

放送の日程は、左記の12月定例会のとおりです。

一般質問の再放送は、翌日午後6時から、再々放送は、おおよそ10日後の午後3時からです。

委員会の様子を録画放映します。

2時間程度にまとめた番組を放送します。

放映の日程は、市議会ホームページでお知らせします。

- ★CCS …………… デジタル 111Ch
- ★Kビジョン …………… デジタル 123Ch
- ★メディアリンク …… デジタル 122Ch